

# 2018 年度協定校短期プログラム 留学報告書

※記載されている内容は留学時の情報に基づくものです。

学部・学科および学年(留学時)	理工学部 学門4 1年
性別	男
留学先国・大学名	ブルネイ・ダルサラーム国 ブルネイ・ダルサラーム大学
留学期間	8/6-9/2

## 留学準備について

留学前あるいは留学中にどのような準備を行いましたか。

留学前に少し日常会話の勉強をした。

買い物には頻りに連れて行ってもらったので、足りないものは現地で買った。

## 費用について

(留学にかかった経費を教えてください。)

	日本円	現地通貨
航空券(往復)	75,000	1,016
保険料(本学指定のもの)	10,000	135
住居費	0	0
食費	0	0
通信費	0	0
おこづかい	40,000	542
その他( )		
その他( )		

## 留学をした理由等について

なぜ留学をしようと思ったのか教えてください。

長い夏休みの期間を有効利用するため。

大学のコミュニティーから飛び出すことで得られる刺激が欲しかったから。

## 留学先の国・地域および留学先大学について

留学先の国・地域および留学先大学を特に志望した理由があれば教えてください。

以前からブルネイについて興味があったから。

英語が広く通じると聞いたから。

フィールドトリップが多く組み込まれ、アメリカやイギリス等の先進諸国に行くよりも新鮮な経験が多くできると考えたから。

大学が所在する街の様子を教えてください。(街の雰囲気や治安、気候などについて)

自然が多い。ショッピングセンターがある一方、ナイトマーケットなどもあり色々楽しめる。産油国で国が潤っ

ているためか治安は良い。気候は半そで、短パンがちょうどいいくらいが、文化的に長ズボンの方がよい。室内は冷房がかなりきいているので上に羽織るものがある。

**留学先の国・地域の良い点・悪い点、またそこに留学するにあたって事前に準備したほうがよいことがあれば教えてください。**

良い点：英語が広く通じる。治安が良い。

悪い点：ヘルシーな食べ物が少なかった。

## プログラムを振り返って

**1日のスケジュールについて教えてください。**

午前は授業があり、午後からフィールドトリップがあった。

**授業はいかがでしたか。(授業の行われ方・内容に関する日本との違い、課題・勉強量・時間 等について)**

ブルネイの歴史、文化、経済、環境などについて英語で学んだ。課題は最終週にフォトエッセイ、グループプレゼン、グループビデオの作成があるくらいで、負担は軽かった。

**課外活動はいかがでしたか。特に印象に残ったものがある場合は教えてください。**

マングローブ林をボートに乗って回ったり、モスクを見学したり、毎日様々な経験をさせてもらえ、楽しかった。

**日常生活はいかがでしたか。(寮生活、クラブ活動、ボランティア、学生交流、日本から持参するとよいもの等について)**

現地で世話をしてくれる学生スタッフは皆フレンドリーで、要望にも柔軟に対応してくれた。現地で買い物に連れて行ってもらえるので、必要なものは現地で容易に調達できる。

**留学をして得たもの、良かった点・悪かった点などを教えてください。**

得たもの：新たなコミュニティ

良かった点：日本には経験できないことを多く経験できた。

悪かった点：他大学ではこのプログラムに参加して2・4単位もらえ、奨学金までもらえていたりもするのに対し、慶應は単位も奨学金もないことに違和感を覚えた。

## 今後プログラムへの参加を希望する学生へのアドバイス

少し興味を持ったなら参加すべきだと思う。4週間は最初長いように思えるが、とても濃密な時間を過ごせるのですぐに終わってしまう。

以上